

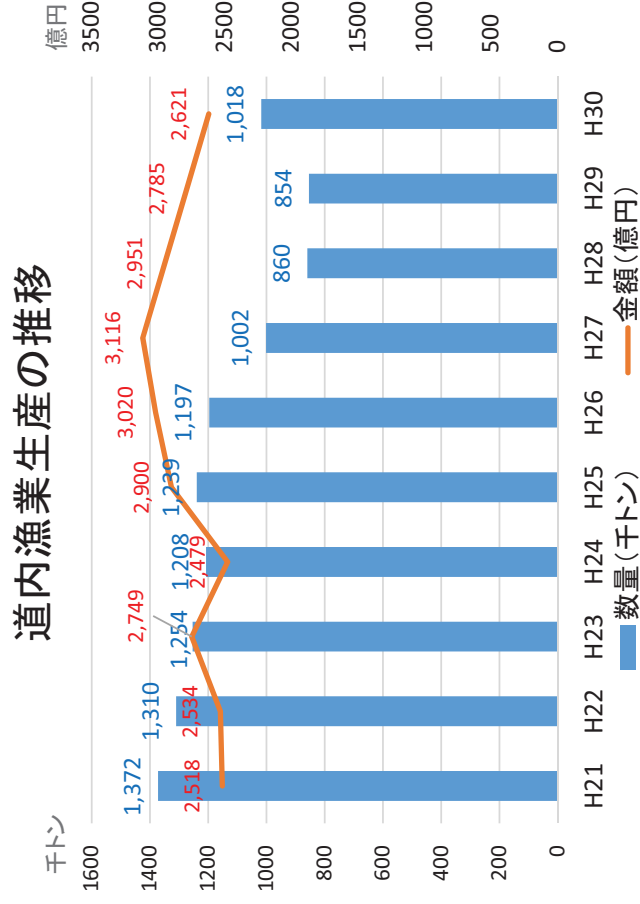
# 道産水産物の消費拡大対策

水産林務部水産局水産経営課水産食品振興グループ



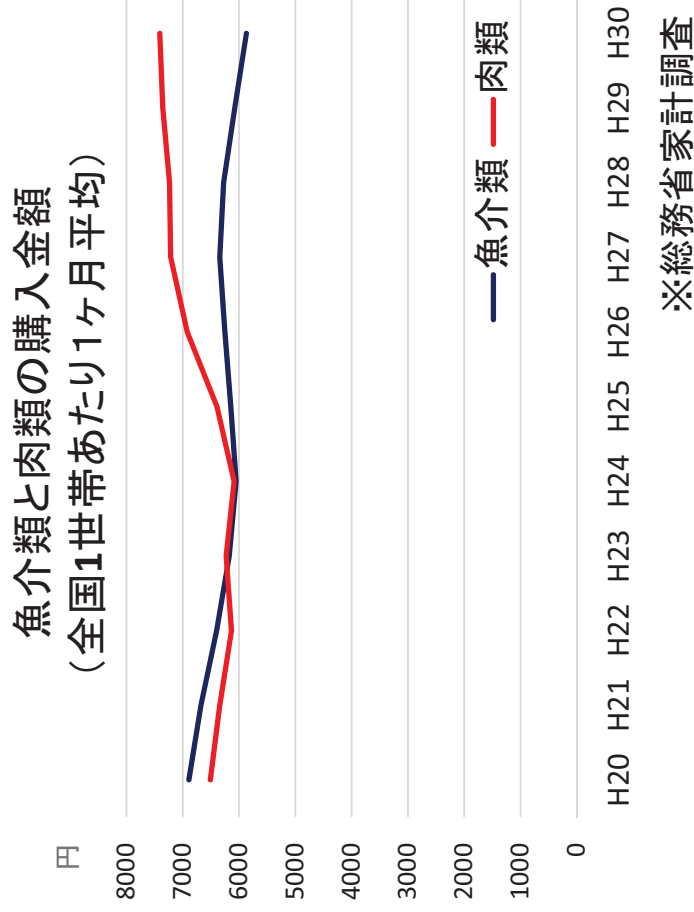
# 現状 ①

## 道内漁業生産の減少



近年、秋サケ、イカ、サンマ、コンブなど、主要魚種を中心に生産が低迷

## 水産物消費量の減少



※総務省家計調査

平成23年に魚介類の購入金額が肉類を初めて下回り、肉類が増加傾向に対し、魚介類は漸減

# 現状 ②

## イワシ、ブリなど新たな魚種の増加

マイワシ・ブリ漁獲量の推移

	H20	H25	H26	H27	H28	H29	H30
マイワシ	0	14	48	46	72	124	118
ブリ	1	12	8	10	12	8	8

単位：千トン

1世帯あたり購入数量(H30、総務省家計調査)

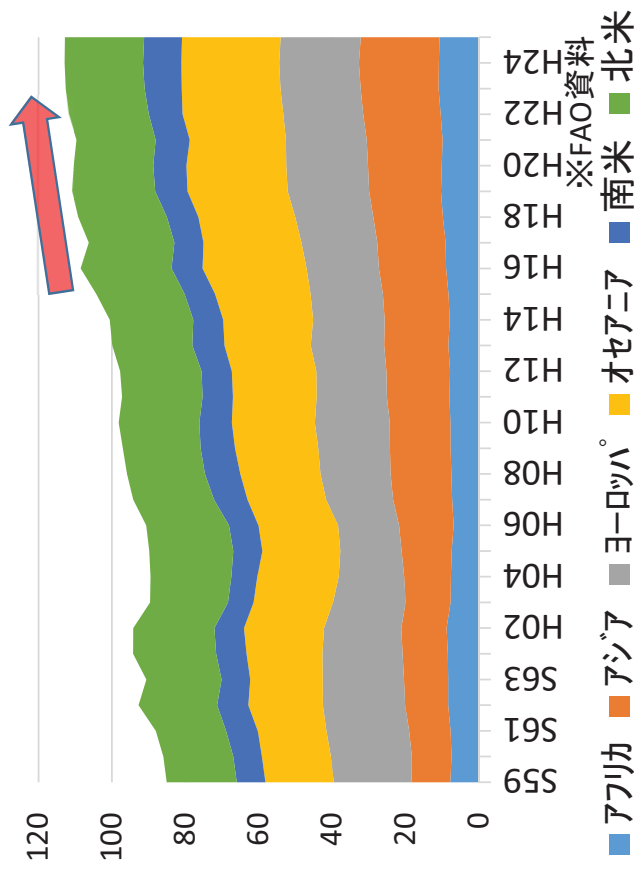
	北海道	全国平均
マイワシ	473	642
ブリ	620	1,617

単位：グラム

本道は食習慣としての馴染みが薄く、全国平均の購入数量を大きく下回っている。

## 世界的な水産物需要の高まり

世界地域別魚介類消費量(kg/人年)



アフリカ、アジアを中心に世界的に消費量が増加。

# 対策

「北海道水産業・漁村振興推進計画」－「第3施策の展開方向」－「7水産物の競争力強化」  
に基づき対策を実施

## 項目

付加価値向上と販路拡大

変化に対応した魚食普及

輸出の拡大

## 内容

- ・イワシ・ブリの有効活用の促進
- ・地域特性を生かしたブランド化の促進
- ・マツカワ、ニシン等種苗放流魚種の販路拡大

- ・ニーズに対応した魚食普及の推進
- ・子どもたちを対象に魚食習慣の定着

- ・輸出品目の多様化、輸出先国の拡大
- ・水産加工場のHACCP認定取得促進
- ・水産エコラベルの取得促進

# 付加価値向上・販路拡大

マイワシ料理フェアの開催（釧路）



ブランド化に取り組む団体への支援



ブリ消費拡大（渡島振興局）

新製品の開発



学校給食向け製品開発への支援



イベントへの参加



# 魚食の普及

子どもおさかな教室の開催(コープさっぽろとの連携)

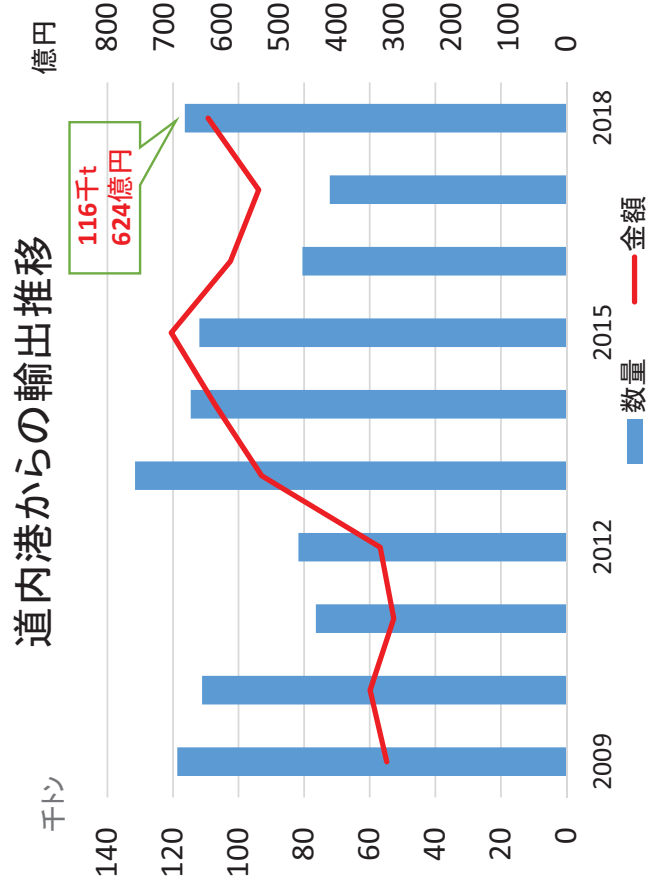


子ども食堂で魚食普及活動に取り組む団体への支援

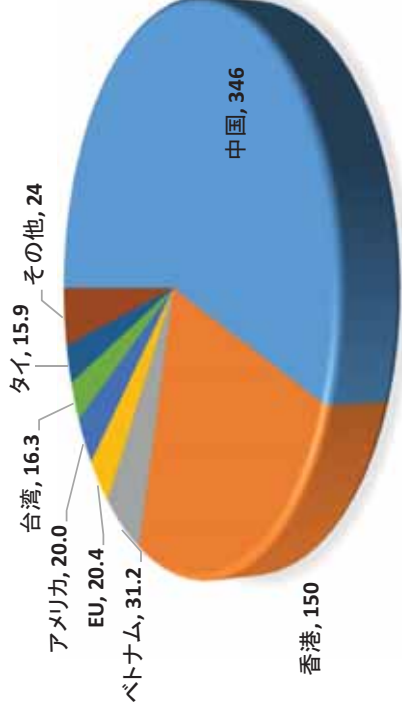


# 輸出拡大 ①

## 道産水産物の輸出状況

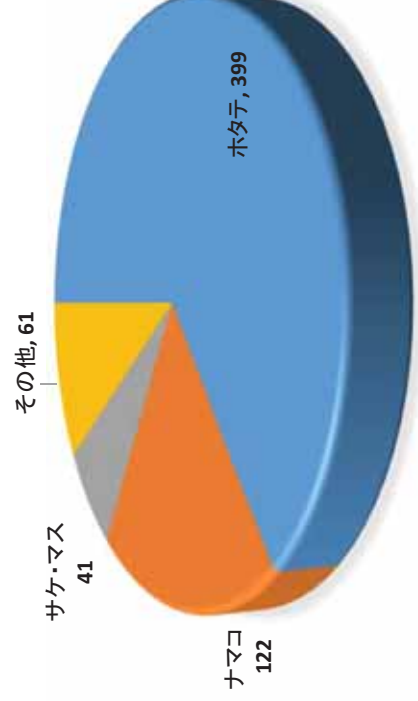


国別輸出額の状況 (H30、億円)



中国、香港で496億円で全体の62.4%、東南アジア諸国を加えると570億円で9割

品目別輸出額の状況 (H30、億円)



ホタテとナマコで全体の8割以上

# 輸出拡大 ②

## 【参考】北海道食の輸出拡大戦略の概要

### ○ 策定の趣旨

道では2016年に「北海道食の輸出拡大戦略」を取りまとめ、生産者や事業者、支援機関等が連携した取り組みを進めてきているが、**北海道の食の輸出を更に成長させ、道内食関連産業の持続的な発展を図る**ため、2018年12月、新たな戦略（第Ⅱ期）を策定したものの。

### ○ 推進期間 **2019年から2023年**までの5年間

### ○ 重点国・地域

中国、香港、台湾、韓国、ベトナム、タイ、シンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、アメリカ、ロシア、欧州、大洋州

### ○ 目標水準

品 目	道内港	道外港	合 計
農畜産物・同加工品	100	25	125
<b>水産物・同加工品</b>	<b>800</b>	<b>300</b>	<b>1,100</b>
その他加工食品	200	75	275
合 計	1,100	400	1,500

単位：億円

※2018.01～12実績（道内港のみ）

農畜産物・同加工品	35億円
<b>水産物・同加工品</b>	<b>624億円</b>
その他加工食品	115億円
合 計	774億円



# 輸出拡大 ③

## 道としての取組方向

### 1. 主要水産物であるホタテや秋サケの輸出拡大

・ホタテや秋サケは道内からの輸出額の7割を占める主要品目となっているが、世界的な生産・流通状況により**近年輸出環境が悪化**している。

・単価の安い加工原料としての輸出が主体であるため、**輸出先国内での消費拡大を図り、付加価値の高い製品を拡大**する必要がある。



### 2. 輸出環境の整備

水産加工場の対米、対EU HACCPの取得促進  
道内における取得状況

	H29.12末	H30.12末	R01.12末
対米	68	72	75
対EU	22	22	22

取得に向けた講習会の開催





# 輸出拡大 ⑤

## 道としての取組方向

### 4. 水産エコラベルの取得促進

※水産エコラベルとは

水産資源や生態系などの環境にやさしい方法で行われている漁業や養殖業を認証する仕組み。欧米等世界的に認知されている「MSC」や日本発の「MEL」などがある。

※2019.12.13、MELは国際的な水産エコラベルのプラットフォームである「世界水産物持続可能イニシアチブ(GSSI)」の承認を取得、世界標準のエコラベルとして認められた。

### 道内における取得状況

区分	認証対象	取得者	取得年月
M S C	ホタテガイ	北海道漁連	H25.05
M E L	秋サケ定置網漁業	北海道漁連	H31.02

※旧基準のMELは南かやべ定置漁業ほか4件

MSC



MEL

